

医療的ケア児等支援 連携推進会議資料

信州大学医学部新生児学・療育学講座
長野県医療的ケア児等スーパーバイザー
亀井智泉

1. 医療的ケア児等、支援等の現状

(1). 圏域別研修状況等

① 平成 30 年度医療的ケア児等支援者・同コーディネーター養成研修 (圏域別)

圏域	全県	佐久	上小	諏訪	上伊那	飯伊	木曾	松本	大北	(長野 長野)	北信
支援者	141	12	20	6	15	10	0	31	4	30	13
コーディネーター	61	4	10	3	10	5	0	6	3	14	6

② 医療的ケア児等コーディネーター 職種ごと

相談支援専門員	22	リハビリテーション療法士	5
相談支援(療育コーディネーター含む)	9	直接支援(施設長・管理者等)	12
看護師	10	行政(保健師、子育て支援等)	3

(2). 圏域での課題と好事例

①課題

ア 実態把握

概ね全圏域で実数の把握に着手しているが、医療的支援の状況の把握には濃淡がある。圏域によっては、医療的ケア児・者の把握が完了、地域資源の実態把握に着手するところもある。

イ 医療的支援について

訪問看護の利用率に圏域間の差がある。圏域の看護リーダーが医療的ケア児等コーディネーターを取得し、相談支援のコーディネーターと連携協働して地域資源の開発に至っている圏域もある。

ウ 通所サービス事業所の不足

市町村により、「重症心身障がい児」の定義がまちまちで(大島の分類によるところと医療的ケアがあれば認めるところがある)、事業所の加算や看護師配置等経営上困難がある。

エ 地域リハビリテーションの不足

施設入所の児童生徒の通学の保障が不十分。学校看護師は入所児の医療的ケアを行えない、また施設の看護師は学校への付き添いができないため、学校と施設が併設・隣接の場合でも医療的ケア児の通学はハイリスクになっている。

②好事例

ア. 実態把握の推進

多くの圏域で、医療的ケア児等の生活と支援の実態調査が進行した。調査結果をもとに、災害対策、地域資源の開拓、支援人材の育成等、地域の課題解決のための取り組みも見られるようになった。

イ. 患者家族会との協働

医療的ケア児等コーディネーターが中心になって、多職種との協働で患者家族会を開催、当事者の困り感の抽出に取り組んだ圏域があった。

訪問看護や訪問入浴等、当該圏域での利用が少なかった支援についての理解と利用の拡大や災害対策等、当事者の声を活かした取り組みがあった。

ウ. 訪問看護師の活躍

訪問看護の利用については圏域間の格差が大きい。利用していない家族が多い圏域では母の疲弊、自責の念と抱え込み(母子相互依存)が大きい傾向がある。その一方で、圏域によっては、地域の訪問看護リーダーを任じる看護師の活躍、看護連携による支援の充実が生まれている。

2. スーパーバイザーの活動内容

ア. 災害対策の取り組み(別紙災害対策フローチャート・個別支援計画参照)

イ. 医療的ケア児等支援者・コーディネーター、指導医師、看護リーダー 養成研修事業

ウ. 困難事例、地域資源開発、圏域間格差等についてのコンサルテーション、後方支援 等

3. 今年度の研修会概要

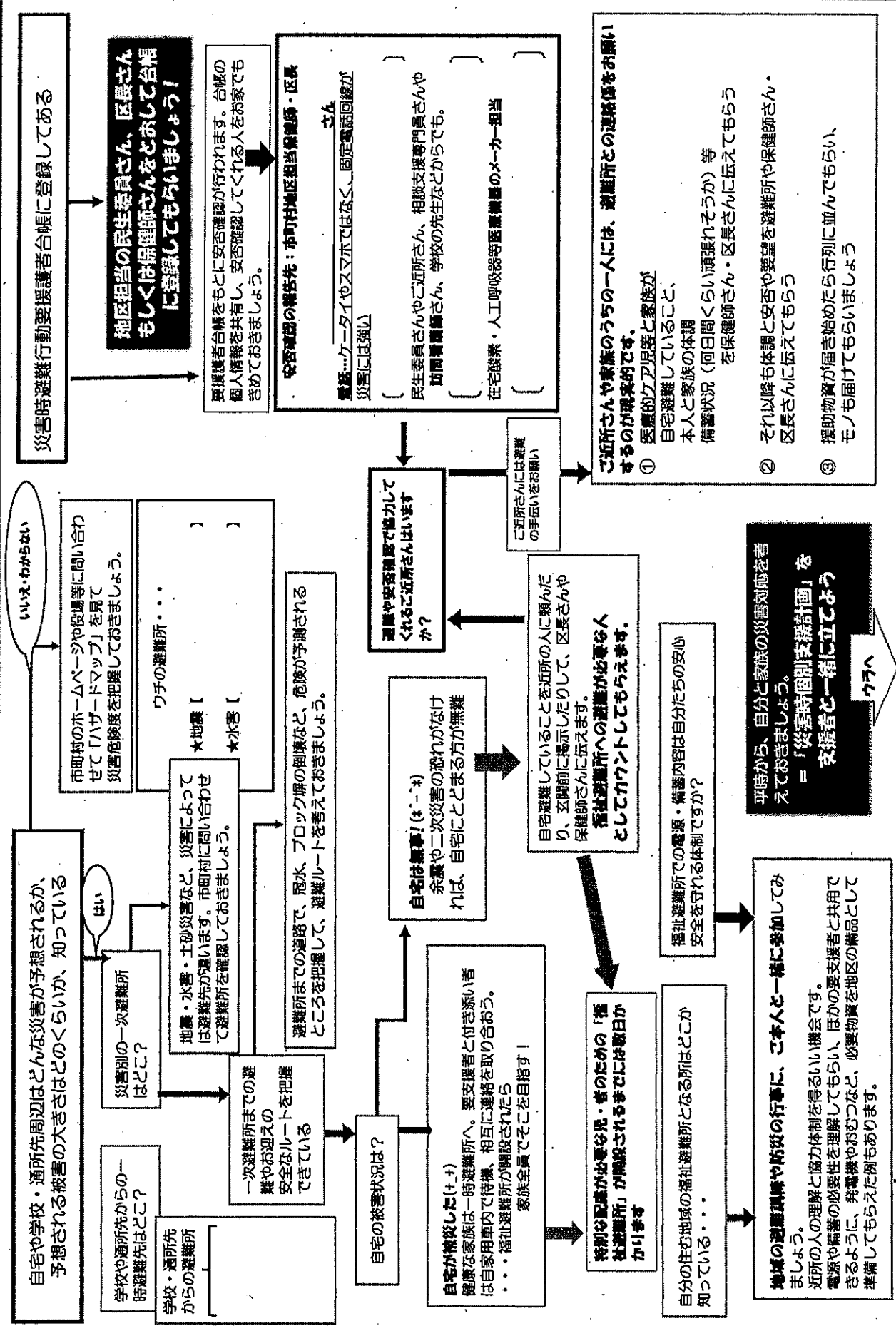
別紙(平成31年度長野県医療的ケア児等支援者・コーディネーター・指導医師・看護リーダー養成研修要綱)参照



医療的ケア児等の災害対応フローチャート

～ 平時から地域でできること～

長野こども医療
推進センター
ゆづりクラス
2019年1月
小林製薬株式会社
加配金による作成



災害対策自助プランシート ～医療的ケア児等のいのちを守る「個別支援計画」～

作成 年 月 日

<p>備蓄 お家(家族全員分) 水一人2ℓ/1日 食料・医療物品とオムツ お薬手帳も身近に!</p>	<p>備蓄 学校や通所先に 家族のお迎えまでの1～2日分</p>
<p>かかりつけ薬局はありますか? []</p>	<p>電源の必要な機器を使っていますか? 人工呼吸器使用の方は、人工呼吸器の交換用バッテリー、手動式吸引器、人工鼻、アンピュバッグも準備しよう!</p>
<p>災害備蓄についてかかりつけ薬局と相談して周辺の基幹薬局での備蓄を依頼してみてください。</p>	<p>電源の確保 ・人工呼吸器 (A) ・バッテリー (A) ・吸引器 (A) ・酸素濃縮器 (A) ・エアマット (A) ・その他 (A)</p>

発災時にけがをしない環境整備

○ベッド周り 医療機器・介護グッズの転倒・落下を防ぐ (ゲル状の前置マットの使用、ベッド柵よりも下に配置する...など)
○窓ガラス 飛散防止シートを張る
○家具の転倒防止、不要なものを置かない...など
※発災時、「けがをしてもとりあえず病院へ」はため!
なげな...自宅を離れると、処置に必要な物品はない。
い。ノどの医療機関も怪我人・病人であふれている。
ノ重症な場合は自宅でお留守置き後、自家用車で病院へ運ぶ。救急車に頼らない!

電源確保のための緊急避難入所・入所ができること

[]

※ この災害対策自助プランシートは「災害時個別支援計画」として、市町村担当者と共有することも可能です。

<p>医療・生活情報のまとめ</p> <p>生年月日 性別 男 女 血液型</p> <p>住所</p> <p>診断名</p> <p>合併症</p> <p>主治医 専門医 医療機関名 電話 () かかりつけ医 医療機関名 電話 () 医師名</p> <p>訪問看護</p> <p>かかりつけ薬局</p> <p>人工呼吸器 機種名 酸素使用:あり () ℓ/分 なし 使用は 夜間のみ その他 () 設定は 呼吸回数 () 回/分 PEEP () 設定は 設定値を分けていない () 気管挿入 挿入の深さ () cm 挿入の深さ () cm 程度</p> <p>吸引 口鼻吸引 できる (全介助 / じぶん) 一部経口摂取 できない 経口摂取は できる (全介助 / じぶん) サイリス 胃ろう 製品名 サイリス 経鼻ロチューブ 製品名 サイリス</p> <p>アレルギー その他</p> <p>医療的ケア</p>	<p>身長 体重 体温 脈拍 呼吸回数</p> <p>家族の日の連絡先 保護者 学年など お家周辺の地図</p> <p>特記事項</p>
---	--

平成31年度医療的ケア児等支援者・コーディネーター・指導医師・看護リーダー
養成研修事業実施要項

事業の目的

人工呼吸器を装着している障害児その他の日常生活を営むために医療を要する状態にある障がい児や重症心身障がい児等（以下「医療的ケア児等」という。）が地域で安心して暮らしていけるよう、医療的ケア児等に対する支援が適切に行える人材を養成することを目的とする。

実施主体

長野県（信州大学医学部新生児学・療育学講座が長野県から委託を受け、公益社団法人長野県看護協会の協力を得て実施します。）

事業全体の共通事項

○個人情報について

研修参加の手続きの際にいただいた個人情報は、研修についてのお知らせや確認等に使用するとともに、修了証書作成のために必要な項目を長野県に提供します。また、提供いただいた個人情報は研修以外の目的では使用せず、個人情報保護法にのっとり、適正に管理します。修了者名簿については長野県障がい者支援課において適正に管理します。

○その他

車いすのご利用や座席の配慮等、サポートが必要な場合は申し込み書にその旨ご記入ください。ご希望に添えるようできる限り努めます。

○受講申し込み

別紙申込書にて、(メールアドレス:info@u-terasu.com.)、もしくはFAX(0263-38-7156)にて、信州大学医学部新生児学・療育学講座 まで申し込んでください。

○お問合せ先

信州大学医学部新生児学・療育学講座

担当：亀井智泉

電話/FAX 0263-38-7156 もしくは 090-4462-9313

Eメール info@u-terasu.com

事業概要

1. 医療的ケア児等支援者養成研修

○受講対象者

医療的ケア児等の支援に携わっている者、今後携わる者。相談支援専門員、医師、看護師、保育士等、資格は問わず広く募集します。

○医療的ケア児等コーディネーター養成研修を受講するには、この研修の受講を必須条件とします。

○日程・会場

≪①②共に受講必須です。①は居住地にかかわらず都合のいい日を選択して受講してください。≫

①7月8日(月) 須坂市シルキーホール第2ホール

7月16日(火) 駒ヶ根市民交流活性化センター 多目的ホール

共に、9時から17時(受付は8時半から)

②10月26日(土) 中信地区(会場未定) 9時から17時

○募集定員 ①は各会場50名ずつ。 ②は100名 受講は無料です

○研修内容

①・総論

- ・医療：日常生活における支援、救急時の対応
- ・福祉：本人・家族の想いの理解、遊び、保育、家族支援
- ・連携：訪問看護のしくみ、小児在宅医療における多職種連携、連携・協働の必要性

②・医療：障がいのある子どもの成長と発達の特徴、疾患の特徴、生理

- ・福祉：支援の基本的しくみ、福祉の制度、虐待防止
- ・ライフステージにおける支援：各ライフステージにおける相談支援に必要な視点、NICUからの在宅移行支援、幼児期・学齢期・成人移行期における支援

○この研修を受講したうえで、「振り返り報告書」(様式は別に示します)の提出をした方には「医療的ケア児等支援者養成研修修了証書」を交付します。

○テキスト

「医療的ケア児等支援者養成研修テキスト」(右図参照)

中央法規出版 3,000円(税別)

講義はテキストに準じて行います。各自で購入して研修当日お持ちください。



2. 医療的ケア児等コーディネーター養成研修

○受講対象者

医療的ケア児等支援者養成研修を受講した者で、事例の支援計画作成のレポートを提出した者。

○募集定員 各会場50名程度 受講無料

○日程・会場 いずれか1日を受講してください。

①研修会 いずれか1日を受講してください。

- ・6月2日(日) 長野県立こども病院 南棟2階大会議室
- ・11月9日(土) 中信地区(会場未定)

②ブラッシュアップ研修会 いずれか1日以上を受講してください。

- ・6月9日(日) 看護協会会館 13時から17時
医療的ケア児等の現状、多様な事業所・機関での支援事例報告、グループワーク
- ・令和2年1~2月(詳細未定)
看護リーダー、医ケア児等支援者、同コーディネーター、指導医等、多職種の人材育成事業の
成果報告とブラッシュアップ・まとめの会

○研修会内容

1. 総論 ①医療的ケア児等の地域生活を支えるために

②医療的ケア児等コーディネーターに求められる資質と役割

2. 本人・家族の想いと意思決定支援

①本人・家族の想いと意思決定支援

②ニーズアセスメント

③ニーズ把握事例

3. 支援体制整備

①支援チーム作りと支援体制整備／支援チームを育てる

②支援体制整備事例

③医療・福祉・教育の連携

④地域の資源開拓・創出方法

4. 計画作成とそのポイント

演習に向けた計画作成のポイントと計画作成事例（レポート）の発表

5. 事例検討

①事例をもとにグループディスカッションによる意見交換

②スーパーバイザーによる計画作成の指導

○テキスト

「医療的ケア児等コーディネーター養成研修テキスト」（右図参照）

中央法規出版、2,000円（税別）

講義はテキストに準じて行います。各自で購入して研修当日お持ちください。

○その他

研修修了者には「医療的ケア児等コーディネーター養成研修修了証書」を交付します。



3. 医療的ケア児等指導医師養成研修

○受講対象者

圏域の医療的ケア児等を支援している医師、及び今後支援したいと考えている医師

○研修内容と開催場所・日時

・医療的ケア児等の地域生活と医療デバイス、医療機器等

中信地区 日程未定

・リハビリテーションの現状と多職種連携

中信地区 日程未定

・訪問指導、本人・家族の想いの理解

圏域の特別支援学校、児童発達支援事業所、保育園等にて。日程は訪問先等と調整する。

指導を伴う訪問の場合は、交通費等を支給する。

○その他

・受講者には圏域の医療的ケア児等支援のための連携推進会議への出席も奨励します。

・研修修了者には「医療的ケア児等指導医師養成研修修了証書」を交付します。

4.医療的ケア児等看護リーダー養成研修

○受講対象者

地域の訪問看護や児童福祉法・障害者総合支援法に基づく福祉施設等において小児、障がい児・者の看護に携わっている者、今後携わりたいと考えている者

○募集定員 60名程度

○日程、会場と内容

日程 事業内容		会場	内 容
6月	9日(日) 13時から 17時 看護リーダー養成キックオフ研修	看護協会 会館	医療人材育成キックオフ・医療的ケア児等コーディネーターのブラッシュアップの機会として ①医療的ケア児等の現状 ②児童発達支援、生活介護等事業所での看護 ③学校、保育園の医療的ケア児等支援 ④生活と成長を支える訪問看護(成人移行支援も視野に) ⑤グループワークによる(圏域ごとの連携の基礎作り)
8月	事業所・他機関	県内各所	事業所・他機関の見学実習
9月	の見学実習		医療型短期入所施設、児童発達支援センター、放課後等デイサービス 特別支援学校 等
令和2年	中～下旬(未定) 本事業成果報告会	中信地区	看護リーダー、医ケア児等支援者、同コーディネーター、指導医等、多職種の人材育成事業の成果報告とブラッシュアップ・まとめの会

○その他

- ・受講者には圏域の医療的ケア児等支援のための連携推進会議への出席も奨励します。
- ・研修修了者には「医療的ケア児等看護リーダー養成研修修了証書」を交付します。

《別紙》

平成31年度長野県医療的ケア児等支援者・コーディネーター・指導医師・看護リーダー養成研修

研修参加申込書

お名前		職種	
所属先 機関名 連絡先	〒 () TEL _____ もしくは メールアドレス ()		
受講希望の研修 に○をつけてく ださい	1. 医療的ケア児等支援者養成研修 (研修①は会場が二つあるので下記から選択してください) ・ 7月8日(月) 須坂市シルキーホール第2ホール ・ 7月16日(火) 駒ヶ根市民交流活性化センター 2. 医療的ケア児等コーディネーター養成研修 いずれか1日を選択してください ・ 6月2日(日) 長野県立こども病院 南棟2階大会議室 ・ 11月9日(土) 中信地区(会場未定) 同 ブラッシュアップ研修 (すべての会への参加も歓迎します) ・ 6月9日(日) 看護協会会館 13時から17時 ・ 令和2年1~2月(詳細未定) 3. 医療的ケア児等指導医師養成研修 4. 医療的ケア児等看護リーダー養成研修 ・ 6月9日(日) 看護リーダー養成キックオフの会		

この他の研修会については、詳細決定次第別途ご案内します

お申し込みは、信州大学医学部新生児学・療育学講座 担当：亀井 智泉

FAX 0263-38-7156

もしくは

メール info@u-terasu.com

まで